

第32回



茂山一族デラックス狂言会

狂言から落語！そして落語から狂言へ！



平林 たいらばやし

骨皮 ほねかわ

死神 しにがみ

解説



茂山千五郎



桂二乗(落語家)

※都合により出演者を一部変更する場合がございます。

2025.5.24(土)14:00開演(13:15開場) 高槻城公園芸術文化劇場 北館 中ホール (602席)
一般 3,500円 高槻文化友の会 3,150円 25才以下 1,000円 (全席指定)

発売日	高槻文化友の会		ネット会員 (登録無料)	一般	便利な電子チケットサービスもございます	
	Web	窓口・電話	Web	Web・窓口・電話	発売初日の受付開始	Web・窓口 10:00~
	1/16(木)	1/22(水)	1/22(水)	1/29(水)		電話 14:00~



チケット販売場所 高槻城公園芸術文化劇場 南館1F 〒569-0077 高槻市野見町6-8
TEL. 072-671-9999(10:00~17:00/月曜休館※祝日の場合は翌日)

※未就学児の入場はご遠慮ください。※チケット完売の場合、当日券は販売しません。※団体割引(一般10枚以上)については、お問合せください。
※車椅子席/補助犬の同伴をご希望の方は、窓口・電話にてお問合せください。

<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/>
主催：(公財)高槻市文化スポーツ振興事業団

茂山一族デラックス狂言会プレイイベント

あきらさん、千之丞さん親子対談！ 出演：茂山あきら、茂山千之丞
4月20日(日) 14:00開演 高槻城公園芸術文化劇場 南館 サンコレックホール

「茂山一族デラックス狂言会」
と同日発売

一般・高槻文化友の会
1,000円(全席指定)

狂言から落語！そして落語から狂言へ！

第32回

茂山一族デラックス狂言会

骨皮

寺を譲ることにした住持が新発意を呼び出し、寺を維持するためには檀家あしらいが大事だと教えます。そこへ檀家がにわか雨に遭い、傘を借りにやってきました。檀家を大切にしようとして新発意は師匠の新しい傘を貸してしまいます。師匠に不用意に貸したことを嗜められ、傘の断り文句を教えてもらいます。次に馬を借りに来た檀家に傘の断り文句を言ってトンチンカンな対応をしてみます。

落語「金明竹」はこの作品を取り入れて作られています。新発意とは仏教用語で新しく悟りを開いて発心した者、つまり成り立ての出家の事です。



住持 茂山七五三



新発意 茂山逸平



齋呼び 鈴木 実



馬借り 山下守之



傘借り 井口竜也

平林

たいら ばやし

作：小佐田定雄

主人が連歌の会を催そうと思いたち、宗匠を下京の「平林(ひらばやし)」さんに頼もうと太郎冠者に文を持たせて使いにやります。しかし太郎冠者はなかなか相手の名前が覚えられません。手紙の宛名を頼りに下京へ向かいますが、字も読めないため途中でどこへ届けるのかわからなくなり、道行く人に宛名を読んで教えてもらいますか…

落語作家の小佐田定雄氏が落語「平林」をもとに作った新作狂言。七五三・あきららが米朝一門の桂文之助師匠、小佐田定雄氏と主宰する「お米とお豆腐」にて2014年初演。



教え手 茂山 茂



主人 茂山宗彦



太郎冠者 茂山千五郎

死神

しに がみ

作：帆足正規



死神 茂山あきら



男 茂山千之丞



召使い丙 井口竜也



召使い乙 茂山虎真



女房 茂山竜正



召使い甲 島田洋海

借金に追われて死のうと考えた男の前に死神が現れます。なぜかその男に好意を寄せるようになった死神は、男を医者に見立て『助からない病人と助かる病人を見分ける方法』を教えます。おかげで男は、名医として大金持ちになるのです。しかし良いことばかりは長続きしません。運に見放され、再度貧窮にさらされた男は、起死回生の妙案を思い付くのですが…

もとはイタリアの民話から、明治初期に三遊亭円朝が落語に翻案したものを、更に狂言化した作品で、作者は能楽師笛方の帆足正規氏です。二世茂山千之丞演出にて1981年「花形狂言会」にて初演以来すっかり人気作品となり、度々上演される新作狂言です。



高槻城公園芸術文化劇場

〒569-0077 高槻市野見町6-8

- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日~1月3日)※別途臨時休館あり
- 駐車場 約150台(南館地下2階・有料)
営業時間 7:00~23:00(年中無休)
- アクセス 阪急「高槻市」駅より徒歩約8分
JR「高槻」駅より徒歩約13分

